

○予算決算委員長報告

予算決算委員長 橋 本 国 勝

予算決算委員長報告を申し上げます。

今期定例会で当委員会に付託されました議案は、「議案第40号 専決処分の承認について（平成29年度鳴門市一般会計補正予算（第6号）」ほか議案2件であります。

当委員会は、6月12日及び6月20日に委員会を開催し、慎重審査いたしました結果、議案1件については承認、また議案2件については原案のとおり可決すべきと決しました。

以下、審査の概要について御報告申し上げます。

まず、「議案第40号 専決処分の承認について（平成29年度鳴門市一般会計補正予算（第6号）」であります。歳入については、地方譲与税、各交付金、地方交付税、及び市債などの額が確定したため、また、歳出については、松江豊壽とよひさけんしょうひ顕彰碑建立事業補助金による増額及び不要となる予備費の減額を行うとともに、剰余額などを財政調整基金「なると第九」ブランド化推進基金に積み立てたことに伴い所要の補正を行ったものであります。また、次年度への繰越しを予定する事業について、産地パワーアップ事業補助金に係る繰越明許費を追加するとともに県営耕地事業負担金に係る繰越明許費を変更したものであり、事務執行上、急を要したことから、地方自治法第179条第1項の規定により専決処分したものであります。

委員からは、歳入のゴルフ場利用税交付金に関して鳴門市所在のゴルフ場利用者数について質疑があり、理事者からは、平成29年度の交付金は約7万5千人分について積算されており減少傾向にあるとの説明を受けました。委員会では採決の結果、全会一致で承認すべきと決しました。

次に、「議案第42号 平成30年度鳴門市一般会計補正予算（第1号）」

であります。歳入については、県補助金としてJA大津松茂が建設予定の産直施設にかかる地域農業振興事業補助金について県の内示を受けたことによることや財政調整基金等からの繰入れ、歳出については、JA大津松茂が建設予定の産直施設に対する補助金、鳴門駅前観光施設を管理するための経費など、所要の補正を行ったものであります。

委員からは、農業振興費のうちJA大津松茂が建設予定の産直施設に対する補助金は1回限りのものかとの質疑があり、理事者からは、今回の補助金は建物本体工事にかかるものであることから1回限りであるとの説明を受けました。

また、委員からは、鳴門駅前の観光施設管理費に関して、施設が完成した後に運営費用を明示するのではなく、事前にある程度示すよう検討して欲しいとの意見がありました。

また、委員からは、鳴門駅前の観光施設管理費の委託料のうち、観光案内所にかかる人件費の想定額が常時1名以上で7ヶ月配置するには低く、外国語や観光案内をある程度できる方を雇用することは難しいのではないかと、もっとよい待遇を検討してもよいのではとの意見がありました。

また、委員からは、8月は観光シーズンであることから観光案内所の運営開始を2ヶ月程前倒しできないのかとの質疑があり、理事者からは、予算を認めていただいた後に事業者の公募となることから、スケジュールとしては9月頃からとしているとの説明を受けました。

また、委員からは、防犯用カメラ・ブザーの設置等の防犯体制について質疑があり、理事者からは防犯用カメラについては足湯に2基設置する予定であり警備費用として

37万5千円を計上しており、防犯用ブザーについては今のところ設置を検討していないとの説明を受けました。完全にオープンなスペースではないことから防犯用ブザーの設置を検討した方がよいのではとの意見がありました。

また、委員からは、シルバーシティプラン推進事業費補助金について質疑があり、理事者からは基本的には高齢者の方を中心とした居場所づくり、市

民の方が実施する介護予防事業、生活支援サポートの3つを地域の実情に応じて提供いただくための事業について介護保険事業特別会計の対象とならない部分を対象としているとの説明を受けました。

委員会では採決の結果、全会一致で原案を了と致しました。

次に、「議案第43号 平成30年度鳴門市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)」であります。暮らしのサポートセンターの運営補助金の計上などをするためのものであります。委員からは、補助金がどのように使用されることを想定しているのかとの質疑があり、理事者からは、事業を担っていただく市民の方に対して必要な経費を補助するものであり、空き家・空き店舗等を利用した場合の家賃や光熱水費等を想定しているとの説明を受けました。また、委員からは、市として重点的に実施して欲しい項目があるのかとの質疑があり、基本的には高齢者の方を中心とした居場所づくり、民の方が実施する介護予防事業、生活支援サポート、この3つを地域の実情に応じて提供していただくことを考えているとの説明を受けました。

委員会では採決の結果、全会一致で原案を了と致しました。

以上が当委員会の審査概要であります。よろしく御賛同賜りますようお願い申し上げます。